

**【サービス活用事例】「えんフォト」導入で、子どもと向き合う時間が増えた！
写真管理にかかる時間と先生の負担を大幅削減**

子どもたちの貴重なシャッターチャンスを中心に捉え、リアルな姿を保護者へ共有
～「えんフォト」活用9年目の園にインタビュー～

労働力不足問題解決のリーディングカンパニーとして、複数のSaaSを展開する株式会社うるる（東京都中央区代表取締役社長：星 知也）が運営する保育園・幼稚園向けのオンライン写真販売サービス「えんフォト」は、社会福祉法人聖天奉仕会 幼保連携型認定こども園 第二和光園（大阪市福島区鷺洲3丁目1番59号）におけるサービス活用事例記事を公開したことをお知らせいたします。



社会福祉法人聖天奉仕会が運営する幼保連携型認定こども園の第二和光園は、基本的な生活習慣を身につけることを理念として、子どもへの共感を大切に保育を行っています。「えんフォト」の利用開始時期は2016年5月と、サービス導入から今年で9年目を迎えます。「えんフォト」を活用し続けている中で、写真販売業務においてどのような工夫を行っているのか、園の先生にお話を伺いました。

■ 導入事例の詳細

「第二和光園」の導入事例詳細はこちら

<https://en-photo.net/voice/06>

■ 概要**<導入前>**

- ・写真販売のプロセスがすべてアナログ対応で、時間がかかりミスが発生しやすかった。
- ・担任の先生が業務時間外にも作業を行う必要があり、負担が大きかった。
- ・特に金銭の授受に関して、責任が伴い精神的な負担が大きかった。
- ・貼り出し形式では保護者が決められた期間内に園に来なければならず、見られない場合の対応に手間がかかった。

<導入後>

- ・写真販売の作業が「撮影・アップロード」だけになり、先生方の負担が大幅に軽減。
- ・金銭の授受がオンライン決済になり、責任やストレスから解放された。
- ・先生方が子どもと向き合う時間が増え、保育業務に集中できるようになった。
- ・写真を通じて、保護者に子どもたちのリアルな成長の様子を伝えやすくなった。

「えんフォト」は今後も、IT や AI の活用を通じて保育の ICT 化を推進することで、写真販売における園職員の業務負担を軽減します。そして、保育に関わる全ての方に喜んでいただけるよう、さらなるサービス拡充に取り組むとともに、子どもたちの笑顔と思い出を大切にしていまいります。

【うるるグループ 概要】株式会社うるる (<https://www.uluru.biz/>)

設立：2001年8月31日

所在地：東京都中央区晴海3丁目12-1 KDX 晴海ビル9F

代表者名：星 知也

事業内容：

◆CGS (Crowd Generated Service) 事業 ※CGS とは、クラウドワーカーを活用したうるる独自のビジネスモデル

- ・電話代行サービス「[fondesk \(フォンデスク\)](#)」「[fondesk IVR \(フォンデスク アイブイアール\)](#)」
- ・入札情報速報サービス「[NJSS \(エヌジェス\)](#)」「[nSearch \(エヌ・サーチ\)](#) ※1」
- ・幼稚園・保育園向け写真販売システム「[えんフォト](#)」
- ・出張撮影サービス「[OurPhoto \(アワーフォト\)](#) ※2」

◆クラウドソーシング事業

- ・プラットフォーム「[シュフティ](#)」の運営

◆BPO 事業 ※3

- ・総合型アウトソーシング「[うるる BPO](#)」
- ・高精度の AI-OCR サービス「[eas \(イース\)](#)」
- ・障害者雇用トータル支援サービス「[eas next \(イース ネクスト\)](#)」

※1 株式会社ブレインフィードにて運営

※2 OurPhoto 株式会社にて運営

※3 株式会社うるる BPO にて運営

■サービスに関するお問い合わせ先

株式会社うるる 担当：菊地

E-Mail: enphoto@uluru.jp

■報道関係者のお問い合わせ先

株式会社うるる ブランド戦略部 広報：古里

TEL：070-9073-6144 E-Mail: pr@uluru.jp